

全北大学校人文学部との国際研究シンポジウム

韓国「併合」100年から考える 日韓コミュニケーションの未来

－ 歴史・家族・メディアという視座から －

セッション1 「歴史」

開会挨拶：細野はるみ（明治大学情報コミュニケーション学部学部長）

司 会：古屋野素材（明治大学情報コミュニケーション学部教授）

金 成奎（全北大学校人文学部教授）

「韓国は日本にとって何か？ ―一つの歴史的断想―」

山田 朗（明治大学文学部教授）

「日露戦争と韓国併合 ―軍事占領から強制併合への道―」

セッション2 「メディア」

司 会：江下雅之（明治大学情報コミュニケーション学部准教授）

権 赫南（全北大学校社会科学学部学部長）

「韓国言論における大統領選挙報道の実態と改善方向」

大黒岳彦（明治大学情報コミュニケーション学部教授）

「『放-送』(broad-cast) から『ネットワーク』(net-work) へ」

セッション3 「家族」

司 会：出口剛司（明治大学情報コミュニケーション学部准教授）

咸 翰姫（全北大学校人文学部教授）

「植民地時代、家事労働者に関する研究」

施 利平（明治大学情報コミュニケーション学部准教授）

「儒教文化圏の日中韓三ヶ国における世代間関係の比較

―同居を中心とする分析から―」

総合討論

司 会：須田 努（明治大学情報コミュニケーション学部准教授）

閉会挨拶：石川幹人（明治大学情報コミュニケーション学部学科長）

2010年10月30日(土)10:00～17:00
明治大学駿河台校舎アカデミーコモン2階A4.5.6

予約不要・ご自由にご参加ください

明治大学情報コミュニケーション学部主催



Meiji Infocom
information and communication